

シュリーマン旅行記 清国・日本



[シュリーマン旅行記 清国・日本 下载链接1](#)

著者:ハインリッヒ・シュリーマン

出版者:講談社

出版时间:1998-4-10

装帧:14.8 x 10.6 x 1.4 cm

isbn:9784061593251

トロイア遺跡の発掘で知られるハインリッヒ・シュリーマン。彼はその発掘に先立つ6年前、世界旅行の途中、中国につづいて幕末の日本を訪れている。3ヵ月という短期間の滞在にもかかわらず、江戸を中心とした当時の日本の様子を、なんの偏見にも捉われず、清新かつ客観的に観察した。執拗なまでの探究心と旺盛な情熱で、転換期日本の実像を生き生きと活写したシュリーマンの興味つきない見聞記。

これまで方々の国でいろいろな旅行者にであったが、彼らはみな感激した面持ちで日本について語ってくれた。私はかねてから、この国を訪れたいという思いに身を焦がしていたのである。——(第4章 江戸上陸より)

作者介绍:

Heinrich

Schliemann (1822—1890)。ドイツ人。貧しい家に生まれ、事業で成功した。46歳の時、トルコ旅行中にトロイア遺跡の話を耳にして、財産をつぎ込んで発掘した。子供の頃からトロイアに関心があったとか、語学の天才だったとか、自伝に書いてあることはほとんど嘘で、金にあかせて売名をした成果としてその名声がある。著書を出すと批評家に金をやって賞賛させ、ある未知の人物が書評を書いたときは、すぐに小切手を送ったという。またシュリーマンがトロイアだと思った場所は、大国トロイアのごく一部に過ぎなかった。古代ギリシャ語もまったくできなかつたに等しいことが今では証明されている。ツァンガー『甦るトロイア戦争』に詳しい

目录:

[シュリーマン旅行記 清国・日本 下载链接1](#)

标签

历史

日本

中国

文化

评论

[シュリーマン旅行記 清国・日本 下载链接1](#)

书评

[シリーマン旅行記 清国・日本 下载链接1](#)